

神田小の誇りは「明るい笑顔」と「元気なあいさつ」：すべては神田の子の「希望をはぐくむために」



学校だより

No. 8 さいたま市立神田小学校

令和7年11月28日発行 Tel (853) 4377

URL : <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を

たくましく生きる神田の子

・かしこく・たくましく・あたたかく

幸せを感じる心を育てる

校長 中村 誠



校舎の屋上からは、西側に富士山、東側にさいたま新都心を一望することができます。(2026年1月撮影)

2026年が始まりました。令和7年度も残り3か月となり、子どもたちが3学期を充実した学校生活を送れるよう、そして令和8年度への準備をしっかりと進めてまいります。

神田小学校が、子どもたちにとっても保護者の皆様にとっても、そして地域の皆様にとっても誇れる学校であり続けるために、令和7年度から学校経営方針に「子どもたち一人ひとりのwell-being（多様な幸福）を実現する学校」を掲げました。これからも、子どもたちの幸せを育む学校を目指してまいります。教職員一同、「すべては神田の子の希望をはぐくむために」という合言葉を胸に、真摯に努力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、皆さんは「幸せって何？」と聞かれたら、どう答えますか？私自身、学校経営方針で「子どもたちの幸せを実現する」と掲げながら「では幸せとは何だろう？」と考えると、簡単に答えは出ません。そんな時、私はミュージシャンである甲本ヒロトさんの言葉を思い出します。

「幸せを手に入れるんじゃない。幸せを感じることでできる心を手に入れるんじや。」

幸せは「手に入れるもの」ではなく「感じるもの」という考え方に立つと、少し糸口が見えてきます。

例えば、「お金がたくさんあるから幸せ」と思う人もいれば、「お金はそこまでなくても、楽しく暮らせれば幸せ」と感じる人もいます。幸せの感じ方は人それぞれです。でも、自分が「こういうことで幸せを感じられる」と分かっていたら、その人は自分の幸せに向かって歩んでいけるのではないのでしょうか。

小学校は、子どもたちが「幸せを感じる心」を育てる大切な時期です。学校として、そのために何ができるかを考えながら、日々の教育活動を進めていきます。そして、「他人の不幸の上に自分の幸福はない」「自分だけの幸福はあり得ない」ということも、しっかり教えていきたいと思います。人が社会で幸せに生きるためには、他者の幸せも欠かせないからです。

保護者・地域の皆様には、子どもたちが幸せをかんじつつ成長していく姿を見守りながら、今月も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。